

第1回愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 議事概要

日時：2020年1月30日（木）午前9時30分から午前9時50分

場所：愛知県庁本庁舎6階 正庁

1 挨拶

大村知事：

新型コロナウイルス感染症については、中国の武漢を中心に、世界中に拡大している。愛知県においても、1月26日に初めて発生が確認され、国内4例目の事案となった。その2日後の1月28日には県内2例目を確認されており、共に武漢から来られた中国人の方である。現在のところ国内、県内では、流行まで至っていないが、他県では人から人へ感染した可能性が高い事例も見つかっており、予断を許さない状況にある。

今後、日本での流行が始まれば医療だけにとどまらず、県民の皆様にも大きな影響が予想されるため、本日ここに愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げるものである。情報を共有し、各局にて対策を行っていただきたい。

2 議題

(1) 新型コロナウイルス感染症の現状について

・保健医療局長から(1)新型コロナウイルス感染症の現状について、配付資料により説明

(2) 各局等の対応等について

保健医療局長：

検査体制については、本日より名古屋市北区の愛知県衛生研究所において実施できるよう、検査体制を整備した。中国人旅行者が宿泊することから、県内の宿泊施設及び関係団体に対して、1月24日付けで新型コロナウイルス感染症患者の発生に係る協力依頼を行った。

経済産業局長：

進出している県内企業について御説明する。中国武漢市及び湖北省には14社、15拠点が進出しており、また、多数の企業が進出している上海市、江蘇省、広東省の政府からは、企業の活動自粛を2月10日の0時まで行うよう通知が出されている。

県では進出企業にヒアリングを実施しており、現在は春節で工場が休業して

いるが、本格再開には労働者、従業員の職場復帰が前提であり、そこを心配する企業もある。今後も現地の状況を注視しながら情報収集に努めていく。

観光コンベンション局長：

外国人旅行者向けの対応としては、昨年 6 月から運用している愛知県多言語コールセンターに対し、県内で中国語など、外国語対応が可能な医療機関の情報を提供するとともに、外国人旅行者等からの問合せに対応するよう指示している。

また、中部国際空港観光案内所、駐名古屋中国総領事館、県が協定を締結している中国最大のオンライン旅行会社 Trip.com 社などに愛知県多言語コールセンターの活用及び医療機関の情報を提供するとともに、愛知県公式観光ウェブサイト「Aichi Now」に、予防や発熱時の対応等の情報を中国語及び英語で掲載し、注意喚起を行っている。さらに、韓国語、タイ語による同内容での情報発信を追加した。

次に、県内観光関係事業者向けの対応としては、愛知県が所管する県内の旅行業登録事業者に対し、外務省、厚生労働省が発出する情報を旅行者へ提供することについて、文書で協力要請を行っている。併せて県内観光施設、宿泊施設、観光案内所、大手旅行代理店、業界団体等に対し、順次ヒアリングを実施している。

その他

大村知事：

今回の会議は、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市の保健所長にも出席いただいた。代表して名古屋市保健所長より一言いただきたい。

名古屋市保健所長：

今回のような感染症対策については、国あるいは県内が一体となることが大切であり、そのためには、各機関が入手した情報を迅速かつ的確に共有することが大切である。今回の新型コロナウイルス感染症については分からない点も多くあると思うが、市民、県民の皆さんの不安を解消できるように協力していきたい。

閉会挨拶

大村知事：

本日は、第 1 回の新型コロナウイルス感染症対策本部員会議で、現状についての情報共有と関係部局の対応について確認した。冒頭でも述べたが、今後の感染や流行拡大によっては、さらに広範囲に影響し、多くの課題が出てくることも

考えられるため、各部局にあっては、油断することなく、スピーディーな対応をお願いしたい。

なお、県民の皆様におかれては、過剰に心配することなく、咳エチケットや手洗いの励行などの通常の感染症対策に努めていただくよう、改めてお願いしたい。

また、中国の武漢から帰国・入国される方におかれては、咳や発熱等の症状がある場合には、検疫所で必ず申し出ていただきたい。帰国・入国後に、症状が現れた場合は、マスクを着用するなどし、予め保健所に連絡の上、速やかに医療機関を受診していただくようお願いしたい。その際には、武漢市の滞在歴があることを申告していただくよう、併せてお願いしたい。

いずれにしても、県民の健康と命を守るために、この新型コロナウイルス感染症に関係各局、関係各市とともに対応に当たってまいりたい。